

講義シラバス									
科目名	香粧品化学Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながらきから原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。現在は座学の授業を主に担当。						
【授業を通じての到達目標】									
国家試験合格に向けて香粧品化学を学ぶ。美容の技術を行う際に、器具と同様に多用するものが香粧品である。香粧品を取り扱う上で、使用上の注意を守り品質の管理と安全性を確保するために正しい知識を身に付ける。									
【学習内容】									
国家試験重要ポイントの確認と振り返り。過去問が解けるようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
香粧品化学教科書、筆記用具、ノート(ルーズリーフも可)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/11)	【到達目標】 メイクアップ製品について メイクアップ製品の種類と特性について理解する				⑨ (11/27)	【到達目標】 国家試験の需要ポイントを確認する 香粧品の成り立ち 水と親水性溶媒について 油性原料の油脂について理解する 問題と解説			
② (9/18)	【到達目標】 ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品について 製品の種類と特性について理解する ヘアクレンジング用品について理解する				⑩ (12/4)	【到達目標】 国家試験の需要ポイントを確認する その他の機能性配合原料について 雑貨原料について 問題と解説			
③ (9/25)	【到達目標】 ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品について 製品の種類と特性について理解する ヘアスタイリング料について理解する				⑪ (12/11)	【到達目標】 国家試験の需要ポイントを確認する スカルプケア製品について 香粧品の効果と使用プロセスについて 問題と解説			
④ (10/9)	【到達目標】 ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品について 製品の種類と特性について理解する パーマ剤について理解する				⑫ (12/18)	【到達目標】 国家試験の需要ポイントを確認する パーマ剤について 問題と解説			
⑤ (10/16)	【到達目標】 ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品について 製品の種類と特性について理解する ヘアカラー製品について理解する				⑬ (1/8)	【到達目標】 国家試験の需要ポイントを確認する ヘアカラー製品について 問題と解説			
⑥ (10/23)	【到達目標】 ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品について 製品の種類と特性について理解する スカルプケア製品について理解する				⑭ (1/15)	【到達目標】 定期試験に向けて問題を解く、文章を読む、それぞれの到達度を理解する			
⑦ (10/30)	【到達目標】 ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品について 重要ポイントの振り返りを行う 問題を解き理解度を深める				⑮ (1/22)	【定期試験】50 (四択問題、60問の出題、1問1点の60点満点)			
⑧ (11/6)	【到達目標】 国家試験の需要ポイントを確認する 香粧品総論 香粧品とは何かを考え理解する 身の周りの香粧品と学ぶ目的を理解する 問題と解説				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業中の携帯の使用は禁止。必ずノートに記入すること。									

講義シラバス									
科目名	美容技術理論Ⅳ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	飯嶋美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就く。これまでの国家試験科目を含む実技授業・指導の経験を活かした内容の授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
国家試験に向けた出題傾向と過去問対策を中心に、幅広い展開の授業で合格レベルの知識と応用力を身に付ける。									
【学習内容】									
専門的分野に広げた専門用語・技術や道具などの解説、受験対策として4択問題を中心に読解力の強化を図る。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
美容技術理論①・②教科書、B5判ノート、筆記用具、9週目よりワークブック					教科書の写真・図の理解を深める。ワークブック過去問対策(コピー使用)				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/23)	【到達目標】 受験まで5か月の受講意識を高める 定期試験フィードバック<教科書①> 各自の弱点、理解できていない項目を自覚する。				⑨ (11/25)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 ＜人体各部名称、作業姿勢、美容用具＞			
② (9/30)	【到達目標】 教科書②スタート エステティック ＜肌質のタイプ、基本手技、フェイシャルケア、パック＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑩ (12/2)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 ＜シャンプーイング・ヘアカッティング＞			
③ (10/7)	【到達目標】 ネイル技術① ＜種類と爪の構造と機能・名称、カット形状、マニキュア技術の道具と手順＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑪ (12/9)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 ＜ヘアセッティング、ヘアデザイン＞			
④ (10/14)	【到達目標】 ネイル技術② ＜アーティフィシャルネイル技術の種類と道具、チップ・ジェル・リペアの違い＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑫ (12/16)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 ＜パーマメントウェーブ、ヘアカラーリング＞			
⑤ (10/21)	【到達目標】 メイクアップ① ＜色彩・スキンケアからリップメイクアップまでの手順と目的＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑬ (12/23)	【到達目標】 教科書② ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 ＜エステティック、メイクアップ＞			
⑥ (10/28)	【到達目標】 メイクアップ② ＜ブライダルメイク・肌質別修整・まつ毛エクステンション＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。 ※日本髪① 各部の名称と種類				⑭ (1/13)	【到達目標】 教科書② ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 ＜ネイル技術、日本髪、着付け技術＞			
⑦ (11/4)	【到達目標】 日本髪② ＜装飾品・小物、技術手順＞ 着付け①＜一般的要領、小物、たたみ方＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑮ (1/20)	【定期試験】60点 ＜定期試験＞ 4択問題を中心に行い、読解力と応用力を鍛えることを目的とする。			
⑧ (11/11)	【到達目標】 着付け② ＜礼装、着物のいろいろ、帯、和装花嫁＞理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!									

講義シラバス									
科目名	国家試験対策実技Ⅰ (国試カット)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	村上敬子 中山里美	講師 プロフィール	札幌の美容学校を卒業後、関東のサロンでカラーリストとして勤務。その後札幌のサロンで経験を積んだのち、ベルエポックに勤務。主に国家試験科目に携わる。学生時代はワインディングコンテストで受賞経験あり。学生技術大会ではグラデーションカットを担当。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。 国家試験合格基準で時間内に完成することができるようになる。衛生のルールを理解し、行動できるようになる。									
【学習内容】									
国家試験の採点項目を理解し、各自の課題を自覚して問題解決出来る力を身につける。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット道具一式、衛生道具一式、油性ペン、筆記用具					各自弱点トレーニング				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (/)	【到達目標】				⑨ (11/26)	【到達目標】全頭を20分以内に完成出来るようになる			
						模擬試験前衛生練習 7分、1分の注意点説明 時間内完成時に残り毛がないように意識してカットする			
② (/)	【到達目標】				⑩ (12/3)	【到達目標】全頭を19分以内に完成出来るようになる			
						模擬試験前衛生練習 ウィック水平の徹底 両サイドのスライス線の確認、強化			
③ (/)	【到達目標】				⑪ (12/10)	【到達目標】全頭を18分で完成出来るようになる			
						模擬試験前衛生練習 模擬試験の時の自分の減点か所の強化 弱点トレーニング			
④ (/)	【到達目標】				⑫ (12/17)	【到達目標】全頭を18分で完成出来るようになる			
						模擬試験前衛生練習 初心に戻りブロッキング、チェックカットの重要性を確認する 長さの計測の正確性、切り残しの原因を考える			
⑤ (/)	【到達目標】				⑬ (12/24)	【到達目標】全頭を20分(チェックカット込)で完成出来るようになる			
						定期テストの説明 本番を意識して衛生とカットのトレーニング			
⑥ (/)	【到達目標】				⑭ (1/14)	【到達目標】合格基準の作品を完成出来るようになる			
						最終の模擬試験前衛生練習 再度注意事項の確認 模擬試験の減点か所を自覚して本番を意識してトレーニング			
⑦ (/)	【到達目標】				⑮ (1/21)	【定期試験】60 全頭カット20分時間内完成 国家試験の採点項目に準じて採点する レイヤーの繋がりに段差がないか ヘムラインに段差がないか 左右バランスは正確か 長さは正しく計れているか			
⑧ (11/5)	【到達目標】全頭カット20分以内に完成出来るようになる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	模擬試験前衛生練習 模試の動きの確認 準備物の最終チェック 模擬試験に向けてスピードアップ								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席、遅刻、忘れ物、身なりの自己管理 国家試験に向けて準備していく									

講義シラバス

科目名	国家試験対策実技 (模擬試験)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。現在は座学の授業を主に担当。 □ □						
【授業を通じての到達目標】									
国家試験の合格基準で模擬試験を実施し、国家試験合格レベルの知識を身につけることができる。 目標点数88点以上 科目0点なし									
【学習内容】									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (/)	【到達目標】			⑨ (11/24)	【到達目標】試験の流れを理解する				
					実技模擬試験第2回 模擬試験の振り返り 衛生の流れの確認				
② (/)	【到達目標】			⑩ (12/1)	【到達目標】各課題ごとの到達目標を目指す				
					実技模擬試験第3回 模擬試験の振り返り 衛生の流れの確認				
③ (/)	【到達目標】			⑪ (12/8)	【到達目標】各課題ごとの到達目標を目指す。各自目標計画を立てる				
					実技模擬試験第4回 模擬試験の振り返り 衛生の流れの確認				
④ (/)	【到達目標】			⑫ (12/15)	【到達目標】各課題ごとの到達目標を目指す。各自目標計画を立てる				
					実技模擬試験第5回 模擬試験の振り返り 衛生の流れの確認				
⑤ (/)	【到達目標】			⑬ (12/22)	【到達目標】各課題ごとの到達目標を目指す。各自目標計画を立てる				
					実技模擬試験第6回 模擬試験の振り返り 衛生の流れの確認				
⑥ (/)	【到達目標】			⑭ (1/19)	【到達目標】国家試験合格レベルに到達する				
					実技模擬試験第7回 模擬試験の振り返り 衛生の流れの確認				
⑦ (/)	【到達目標】			⑮ (1/26)	【到達目標】国家試験合格レベルに到達する				
					実技模擬試験第8回 模擬試験の振り返り 衛生の流れの確認				
⑧ (11/18)	【到達目標】試験の流れを理解する			【成績評価の方法と基準】					
	実技模擬試験第1回 模擬試験の振り返り 衛生の流れの確認			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
各自本番同様の意識と準備で臨む									

講義シラバス

科目名	模擬試験筆記Ⅰ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。現在は座学の授業を主に担当。						
【授業を通じての到達目標】									
国家試験筆記合格に向けて必要な知識を身に付ける 筆記試験の課目を理解し、問題を解くことに必要な知識を学び、過去問題の理解を深める									
【学習内容】									
美容師国家試験に向けて、それぞれがどう学ぶべきか考える。問題を読むこと、解くことになれる。国家試験の問題について傾向を知り、理解することで、考える力を身に付ける。 模擬試験を行うことで、自分の課題を発見し、科目授業内で解決する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
国家試験過去問題									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/23)	【到達目標】				⑨ (11/25)	【到達目標】			
	模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。正答率の高い問題の確認 筆記用具					模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。確実に解けた問題で66点を 目指す 筆記用具			
② (9/30)	【到達目標】				⑩ (12/2)	【到達目標】			
	模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。正答率の高い問題の確認 筆記用具					模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。確実に解けた問題で66点を 目指す 筆記用具			
③ (10/7)	【到達目標】				⑪ (12/9)	【到達目標】			
	模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。正答率の高い問題の確認。74 点以上を目指す 技術理論の解説 筆記用具					模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。確実に解けた問題で66点を 目指す 筆記用具			
④ (10/14)	【到達目標】				⑫ (12/16)	【到達目標】			
	模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。正答率の高い問題の確認。74 点以上を目指す 技術理論の解説 筆記用具					模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。確実に解けた問題で80点を 目指す 筆記用具			
⑤ (10/21)	【到達目標】				⑬ (12/23)	【到達目標】			
	模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。正答率の高い問題の確認。76 点以上を目指す 技術理論の解説 筆記用具					模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。80点以上を目指す 筆記用具			
⑥ (10/28)	【到達目標】				⑭ (1/13)	【到達目標】			
	模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。正答率の高い問題の確認。76 点以上を目指す 技術理論の解説 筆記用具					模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。88点以上を目指す 筆記用具			
⑦ (11/4)	【到達目標】				⑮ (1/20)	【定期試験】60			
	模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。正答率の高い問題の確認。78 点以上を目指す 技術理論の解説 筆記用具					模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。88点以上を目指す 筆記用具			
⑧ (11/11)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】				
	模擬試験 個人点数と間違えた問題の確認。正答率の高い問題の確認。78 点以上を目指す 技術理論の解説 筆記用具				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	美容実習Ⅳ (ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	北俣京子	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務数年前よりベルエポック美容専門学校講師として勤務						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。 国家試験合格基準の作品を時間内に完成できるようになる。衛生のルールを理解し、行動できるようになる。									
【学習内容】									
オンベース 1/2オフベース シンメトリーを正確に収める技術を身につける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
WD用具一式 プリント 筆記用具・名札									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/11)	【到達目標】 基本通り1本1本を正確にに巻くことができる 全頭 21分				⑨ (11/27)	【到達目標】 国家試験 衛生基準が守られている個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 19分			
② (9/18)	【到達目標】 姿勢を含め動作を早くすることができる 全頭 21分				⑩ (12/4)	【到達目標】 国家試験 衛生基準が守られている個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 19分			
③ (9/25)	【到達目標】 オンベース オフベース 正確性を強化する 全頭20分				⑪ (12/11)	【到達目標】 国家試験 衛生基準が守られている個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 19分			
④ (10/9)	【到達目標】 左右のシンメトリーの正確性強化する 全頭 20分				⑫ (12/18)	【到達目標】 国家試験 衛生基準が守られている 全体のバランス、左右のシンメトリー、ラウンド、面、ゴムの掛け方 する 全頭18分			
⑤ (10/16)	【到達目標】 全体のバランス、左右のシンメトリー、ラウンド、面、ゴムの掛け方を正確にする 全頭 20分				⑬ (1/8)	【到達目標】 国家試験 衛生基準が守られている 全体のバランス、左右のシンメトリー、ラウンド、面、ゴムの掛け方 する 全頭 18分			
⑥ (10/23)	【到達目標】 国家試験 衛生用具や持ち物について理解する 全頭 20分				⑭ (1/14)	【到達目標】 国家試験合格基準 全頭 18分			
⑦ (10/30)	【到達目標】 国家試験 衛生用具や持ち物について理解する シンメトリーラウンド面ゴムの掛け方が出来ている 全頭 20分				⑮ (1/22)	【到達目標】 衛生面技術国家試験合格基準 時間内完成 20分			
⑧ (11/6)	【到達目標】 国家試験 衛生用具や持ち物について理解する シンメトリーラウンド面 ゴムの掛け方が出来ている 全頭 20分				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅲ (オールウェーブ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	園田 翔太郎 藤 なつき	講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積み、 ベルエポックで学生教育にも携わる。国家試験科目の授業を担当し、 国家試験合格に向けて学生をサポートしていきます。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。 国家試験合格基準の作品を時間内で完成できるようになる。衛生のルールを理解し、行動できるようになる。									
【学習内容】									
オールウェーブ7段構成を合格基準でバランス良く作り、全てのカールを正確に収めるよう繰り返し練習する。 衛生のルールを学び、減点されない行動をとれるよう意識して授業に取り組む。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
AW道具一式・タオル4～5枚 筆記用具・雑巾(タオル2つ折り縫っていないもの)					各回、宿題提出あり				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (9/10)	全頭29分 オールウェーブの審査項目を理解することができる。 部分ごとの作り方の復習、スピードアップができる。				⑨ (11/26)	全頭22分・手直し2分・机上の整理1分 バランス、ウェーブ、リッジで減点されない作品を作れるようになる。			
② (9/17)	額13分以内・全頭28分 割れないウェーブ、リッジができるようになる。				⑩ (12/3)	全頭21分・手直し3分・机上の整理1分 カールで減点されない作品を作れるようになる。			
③ (9/24)	額13分以内・全頭27分 カールの強化、苦手カールを克服できるようになる。				⑪ (12/10)	全頭20分 苦手部分を繰り返し練習し、全体の完成度を上げる。 メイポールカール、クロッキノールカールの強化。			
④ (10/8)	額12分以内・全頭26分 3等分のバランス、ウェーブ幅、縦幅を意識し、 バランスの良い作品を作ることができる。				⑫ (12/17)	全頭20分 バランスの良い作品を時間内で作れるようになる。			
⑤ (10/15)	額12分以内・全頭25分 苦手部分を繰り返し練習し、減点されない作品を作れるようになる。				⑬ (12/24)	全頭20分 バランスの良い作品を時間内で作れるようになる。			
⑥ (10/22)	全頭24分 カールスペースで減点されないバランスを理解し作れるようになる。				⑭ (1/14)	国家試験に向けたトレーニング。 苦手部分を繰り返し練習し、完成度を上げることができる。			
⑦ (10/29)	全頭23分・手直し1分・机上の整理1分 時間内に全頭を作れるようになり、模擬試験で未完成にならない ようスピードトレーニング。				⑮ (1/21)	国家試験で合格できる作品を作れるようになる。 衛生審査で減点されない行動ができる。			
⑧ (11/5)	全頭23分・手直し1分・机上の整理1分 得意部分のスピードを上げ、全体のスピード強化する。 姿勢、手つき、目線、ピンニングなど基本動作を今一度徹底し、作 品を作れるようになる。				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
忘れ物、宿題未提出は小テストより減点します。 授業に取り組む姿勢が良くない場合も減点となります。									

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅱ (カット)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	村上敬子 中山里美	講師 プロフィール	札幌の美容学校を卒業後、関東のサロンでカラーリストとして勤務。その後札幌のサロンで経験を積んだのち、ベルエポックに勤務。主に国家試験科目に携わる。学生時代はワインディングコンテストで受賞経験あり。学生技術大会ではグラデーションカットを担当。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。 国家試験の合格基準でレイヤーカットが完成できるようになる。衛生のルールを理解し、行動できるようになる。									
【学習内容】									
国家試験の採点項目を理解し、各自の課題を自覚して問題解決出来る力を身につける。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット道具一式、国家試験用カットコーム、国家試験用ウィック、筆記用具、テキスト、絆創膏、ウェットティッシュ、汚物入れ、タオル、油性ペン					各自の弱点トレーニング				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】衛生に関わるルールの説明を理解して出来るようになる					【到達目標】第2ブロックのレベルアップ			
① (9/23)	3S定期試験の振り返りと今後の課題の確認。 第1課題時の衛生について学ぶ。 準備物の説明など				⑨ (11/25)	模擬試験の振り返り 第2ブロックの強化			
	【到達目標】全頭を27分でカット出来るようになる					【到達目標】ガイドラインのレベルアップ			
② (9/30)	衛生に関するプリントを配布して、説明しながら流れを覚える。 各セクション毎に注意点を説明				⑩ (12/2)	模擬試験の振り返り サイド～バックのガイドラインの強化 お互いのカットしているところを見学して学ぶ			
	【到達目標】全頭を25分でカット出来るようになる					【到達目標】全頭を18分でカット出来るようになる			
③ (10/7)	7分間の練習 バックとサイドの繋がりを理解する 1分の毛払いの練習				⑪ (12/9)	模擬試験振り返り 第3ブロックの左右バランスを強化			
	【到達目標】全頭を23分でカット出来るようになる					【到達目標】全頭を17分でカット出来るようになる			
④ (10/14)	7分間の練習 本番のアナウンスを聞いて時間を意識する 第2ブロックの強化				⑫ (12/16)	模擬試験振り返り バックスライス線の強化 正中線の意識			
	【到達目標】全頭を21分でカット出来るようになる					【到達目標】全頭を20分(チェックカット込)でカット出来るようになる			
⑤ (10/21)	バックの強化 衛生を意識しながら全頭カット21分間				⑬ (12/23)	定期テストの説明 フロントガイドの強化 合格出来る作品を時間内に完成させる			
	【到達目標】全頭を20分でカット出来るようになる					【到達目標】合格基準の作品を完成出来るようになる			
⑥ (10/28)	フロントの強化 チェックカットの確認 過去の不合格作品を見て減点基準について学ぶ				⑭ (1/13)	国家試験本番までのウィックの使用計画の確認 時間を意識しながら、作品の完成度を上げる 自分の弱点トレーニング			
	【到達目標】カットの採点項目を理解できるようになる					【定期試験】60 全頭カット20分時間内完成 国家試験の採点項目に準じて採点する レイヤーの繋がりに段差がないか ヘムラインに段差がないか 左右バランスは正確か 長さは正しく計れているか			
	【到達目標】全頭カットを20分以内に完成させるようになる					【成績評価の方法と基準】			
⑧ (11/11)	模擬試験前に衛生について確認 7分間、1分間の細かい注意点の説明 減点が入りやすい箇所を認識する					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席、遅刻、忘れ物、身なりの自己管理。 国家試験に向けて準備していく									

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅳ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	土井 恵美	講師 プロフィール	大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。札幌ベルエポック美容専門学校に異動後は全学科の教務を担当。コンテスト経験も多数あり。美容実習・美容技術理論の資格も保有しており、授業を担当もできるが、現在は担任として国家試験合格、就職内定までのサポート業務をメインで担当している。						
【授業を通じての到達目標】									
業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。 業界の即戦力として永く活躍できる人材になる。 美容師国家試験合格のため衛生や受験に関する知識を積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。また業界から選ばれる人材になり、就職内定に結びつける。									
【学習内容】									
就職活動についての知識、マナーを学び、将来の具体的ヴィジョンを考え、行動する。 国家試験合格に向けて衛生の細かい注意点などを学び、実技、筆記ともに目標を組み立て、実践していく。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具、プロ道ファイル、配布資料									
日時	授業計画			日時	授業計画				
	【到達目標】				【到達目標】				
① (9/11)	学生技術大会について 前期の振り返りと後期の目標設定の見直し			⑨ (11/27)	国家試験模擬試験を振り返り、自己分析を行う② 実技模試についての再確認 席替え 11月の振り返り				
② (9/18)	hand-book of Life Style プロの職業人を目指すにあたって 1年次の復習と社会生活編まとめ①			⑩ (12/4)	国家試験模擬試験を振り返り、自己分析を行う③				
③ (9/25)	hand-book of Life Style プロの職業人を目指すにあたって 1年次の復習と社会生活編まとめ② 席替え 9月の振り返り			⑪ (12/11)	国家試験模擬試験を振り返り、自己分析を行う④				
④ (10/9)	学園祭準備			⑫ (12/18)	国家試験模擬試験を振り返り、自己分析を行う⑤ 冬休みに入るにあたって課題の確認 12月の振り返り				
⑤ (10/16)	学園祭準備			⑬ (1/8)	国家試験模擬試験を振り返り、自己分析を行う⑥				
⑥ (10/23)	学園祭準備 個人面談について 席替え 国家試験模擬試験に向けた流れと準備について理解する			⑭ (1/15)	ポートフォリオ整理 席替え(学籍番号順) 国家試験最終確認 国家試験模擬試験を振り返り、自己分析を行う⑦				
⑦ (10/30)	次週より時間割が後期後半へ 国家試験第二課題が発表について 衛生審査項目の理解を深める 10月の振り返り			⑮ (1/22)	後期定期試験 今後の国家試験対策授業について(今後のスケジュール確認) 卒業式について 2年間を振り返る(1月の振り返り)				
⑧ (11/6)	国家試験 願書記入 国家試験模擬試験を振り返り、自己分析を行う⑧ ベルコン本戦に向けて			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
国家試験第二課題発表(11月)までに8割の内定を目指し、12月末までには全員就職内定を目指していく。早期内定を勝ち取ることで、国家試験に集中できる環境にしていく。									

講義シラバス

科目名	美容総合Ⅲ(カスタマイズⅥ) A.サロンスタイル (サロンスタイルカット・サロンスタイルカラー)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	葛西雄紀 鈴木春奈	講師 プロフィール	葛西 株式会社カミト 東区にあるサロン【fika】店長兼カラーリスト。道内で美容師に向けたヘアカラー、特殊ヘアセット、ヘッドスパなどの講師活動もしている。コンテストにも力を入れており道内フォトコンテストにて準グランプリ獲得経験あり						

【授業を通じての到達目標】

業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。
業界で必要な技術と知識を身に付け、即戦力になるアシスタント力を身に付ける。
1年次に学んだカット&スタイリング、カラーリングデザインの応用編。よりナチュラルなサロンスタイルについて学びを深める。基礎のカットを経て得た基本的な技術を活かして、様々なサロンスタイルに挑戦していく。

【学习内容】

リアルなサロンワークで生きるカット、カラーのスキルを身につける

【使用教科書・教材・参考図書】		【授業時間外における学習・宿題・課題など】	
ip200S×3体 ip150×2体		トレンドや自分の好みのスタイルをインプットしておく	
日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/22)	【到達目標】	⑨ (11/24)	【到達目標】
	〈ip200s ①カット〉 カット理論の復習とサロンスタイル似合わせ理論。ロングスタイルを実際にカットデザインしてみる		〈ip200s①カット〉ショートスタイル リアルサロンワークで使うショートスタイルのカット手順を学ぶ
② (9/29)	【到達目標】	⑩ (12/1)	【到達目標】
	〈ip200s ①カット〉 ミディアムスタイル レイヤースタイルカット。自分のカットしたスタイルをアイロンスタイリング		〈ip200s①カット〉ペリーショートスタイル 骨格を意識してヘアスタイルをフィットさせる
③ (10/6)	【到達目標】	⑪ (12/8)	【到達目標】
	〈ip200s ①カラー〉 カラー理論復習 塗布理論やデザイン理論。実際にカットしたウィッグにカラーデザインをしてみる		〈ip200s ②カラー〉 オンカラー プリーチウィッグにテーマ、モデルのイメージに合わせてカラーデザインしていく
④ (10/13)	【到達目標】	⑫ (12/15)	【到達目標】
	〈ip200s ①カラー〉 ホイルワーク 塗り分けテクニック。ホイルやブロックカラーでのデザインを学ぶ		〈ip200s ②カット〉 イメージテーマに合わせたスタイルを作る カラーデザインされたウィッグをお題の女性像に合わせたスタイルをカットスタイリングする
⑤ (10/20)	【到達目標】	⑬ (12/22)	【到達目標】
	〈ip200s ② カット〉 ポブスタイル 収まるポブ軽いポブを切り分ける		〈ip200s ③〉 定期試験のウィッグ作成 自分がイメージしたカラーデザインを再現する1
⑥ (10/27)	【到達目標】	⑭ (1/19)	【到達目標】
	〈ip200s ② カラー〉 プリーチコントロール 理論と塗布技術を身につける ウィッグを綺麗により明るくする		〈ip200s ③〉 定期試験のウィッグ作成 自分がイメージしたカラーデザインを再現する2
⑦ (11/3)	【到達目標】	⑮ (1/26)	【定期試験】60
	〈ip150 ①カラー〉 カラーデザイン バレイヤージュ カラーウィッグにブリーチを使用してバレイヤージュ塗布の方法を学ぶ		〈ip200s ③〉 学年末試験 カラーデザインをしたウィッグにカット&スタイリングでサロンスタイルを作る
⑧ (11/10)	【到達目標】	【成績評価の方法と基準】	
	〈ip150 ①カラー、カット〉カラーデザイン バレイヤージュオンカラー、カラーデザインをしたウィッグをカットスタイリングする	●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			
授業に使用するウィッグはシラバスに書いてあるのでウィッグをくれぐれも間違えないように用意する			

講義シラバス

科目名	美容総合Ⅲ(カスタマイズⅦ) A.サロンワーク (パーマテクニック・トータルサロンワーク)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	東 隼弥 伊藤元気	講師 プロフィール	東：市内2店舗を経験し、2022年大通エリアにsicaをオープン。現在12名在籍。札幌で唯一無二のパーマサロンとして2024、2025カミカリスマ受賞。WELLA TRENDVISIONエリアファイナリスト。 伊藤：ウエルジャパン株式会社に入社して12年目になります。現在は新札幌にあるPD VISEO Smart Salonの店長です！ベルエポック講師8年目になります！						

【授業を通じての到達目標】

業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。業界で必要なサロンワーク技術と知識を身に付け、即戦力になるアシスタント力を身に付ける。前半はパーマについての知識技術を学ぶとともに実際に薬剤も使用し、実践していく。パーマのヘルプなど即戦力になる学びも深める。後半はサロンワークの一連の流れを把握し、接客、カウンセリング、施術、スタイリングまでの技術を自信をもって提供できるようになる。サロンワークを2年学んできたことの集大成を発揮する。

【学习内容】

パーマを通してサロンワークで即戦力になる技術と知識の習得。アシスタントとしての考え方、技術を身に着ける

【使用教科書・教材・参考図書】		【授業時間外における学習・宿題・課題など】	
ip200S×3体 ip150×2体 パーマ: ロッド、薬剤、リングコーム、シザー、コーム、スプレーヤー、 ドライヤー、タオル4枚			
日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/22)	【到達目標】	⑨ (11/24)	【到達目標】
	自己紹介 パーマの薬剤からロッド選定までの基本知識を学ぶ 次回に向けてのレイヤーカット実施		【サロンワーク実習室】 サロンワーク(パーマヘルプ人頭)
② (9/29)	【到達目標】	⑩ (12/1)	【到達目標】
	レイヤーカットと平巻きで作ってみよう！ スパイラルパーマの練習とカールの違いについて学ぶ		【普通教室】 サロンワーク(カラーウィッグ)
③ (10/6)	【到達目標】	⑪ (12/8)	【到達目標】
	メンズパーマの事前カット たたみ巻きの練習		【サロンワーク実習室】 サロンワーク(カラー人頭)
④ (10/13)	【到達目標】	⑫ (12/15)	【到達目標】
	メンズスタイルにパーマをかけよう！ ボブパーマの事前カット		【サロンワーク実習室】 サロンワーク(学内サロン)/座学
⑤ (10/20)	【到達目標】	⑬ (12/22)	【到達目標】
	ボブスタイルにパーマをかけてみよう		【サロンワーク実習室】 サロンワーク(学内サロン)/座学
⑥ (10/27)	【到達目標】	⑭ (1/19)	【到達目標】
	最終回に向けてのスタイルデッサン		【普通教室】 座学
⑦ (11/3)	【到達目標】	⑮ (1/26)	【定期試験】60
	オリジナルパーマスタイルを作ってみよう		【普通教室】 サロンワーク定期試験
⑧ (11/10)	【到達目標】	【成績評価の方法と基準】	
	【普通教室】 サロンワーク(パーマヘルプウィッグ)	●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	美容総合Ⅲ(カスタマイズⅥ) B.トータルヘアメイク	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	蓮川まゆ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、バラダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。 業界で必要な技術と知識を身に付け、即戦力になるアシスタント力を身に付ける。 また個性を磨く学びを活かし、1年次に学んだヘアアレンジメイクの技術の応用編を実践。ヘアメイクの引き出しを増やす。									
【学習内容】									
様々なヘアスタイルやメイクを学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/22)	【到達目標】				⑨ (11/24)	【到達目標】			
	オリエンテーション、相モデルでヘアメイク					【質感】をテーマに相モデルでヘアメイク①			
② (9/29)	【到達目標】				⑩ (12/1)	【到達目標】			
	【雑誌】をテーマに相モデルでヘアメイク					【質感】をテーマに相モデルでヘアメイク②			
③ (10/6)	【到達目標】				⑪ (12/8)	【到達目標】			
	【年代】をテーマに相モデルでヘアメイク①					【形】をテーマに相モデルでヘアメイク			
④ (10/13)	【到達目標】				⑫ (12/15)	【到達目標】			
	【年代】をテーマに相モデルでヘアメイク②					【洋装】をテーマに相モデルでヘアメイク			
⑤ (10/20)	【到達目標】				⑬ (12/22)	【到達目標】			
	【韓国】をテーマに相モデルでヘアメイク					【和装】をテーマに相モデルでヘアメイク			
⑥ (10/27)	【到達目標】				⑭ (1/19)	【到達目標】			
	【カラー】をテーマに相モデルでヘアメイク					コンセプトシート作成、練習			
⑦ (11/3)	【到達目標】				⑮ (1/26)	【到達目標】			
	【ロケフォト】をテーマに相モデルでヘアメイク					【定期試験】60 試験			
⑧ (11/10)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】				
	【ファッションショー】をテーマに相モデルでヘアメイク				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	美容総合Ⅲ(カスタマイズⅦ) B.撮影ヘアメイク	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	森夏子	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。 業界で必要な技術と知識を身に付け、即戦力になるアシスタント力を身に付ける。 また個性を磨く学びで1年次に学んだヘアメイクの基礎技術を活かすと同時に撮影スキルを学び、実践。美容師として作品を発信していくスキルを学び、将来に活かしていくことができる。									
【学習内容】									
様々な撮影ヘアメイクのテクニックを学び、イメージ通りに表現できるようになる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/22)	【到達目標】				⑨ (11/24)	【到達目標】			
	撮影について説明、デモンストレーション、イメージシート作り					要望に応えるHM 相モデル			
② (9/29)	【到達目標】				⑩ (12/1)	【到達目標】			
	カジュアルHM 相モデル					要望に応えるHM 相モデル			
③ (10/6)	【到達目標】				⑪ (12/8)	【到達目標】			
	フェミニンHM 相モデル					モノクロ撮影HM 相モデル			
④ (10/13)	【到達目標】				⑫ (12/15)	【到達目標】			
	エレガントHM 相モデル					グループ作品撮影			
⑤ (10/20)	【到達目標】				⑬ (12/22)	【到達目標】			
	模写HM 相モデル					グループ作品撮影			
⑥ (10/27)	模写HM				⑭ (1/19)	【到達目標】			
	模写HM 相モデル					定期試験の考案・練習			
⑦ (11/3)	【到達目標】				⑮ (1/26)	【定期試験】60			
	中間チェックの考案・練習・撮影テクニックを学ぶ					定期試験			
⑧ (11/10)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】				
	中間チェック 相モデル								
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				